

独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園オンラインセミナー

障害者の福祉的就労と

日中活動サービスの支援のあり方について

～個別支援の充実と社会参加を目指して2023～

「重度の障害のある利用者の 社会参加を目指した支援」

令和5年 10月 4日

社会福祉法人 訪問の家

名里 晴美



～ 成り立ち ～

- S47年に始まった重度重複の障害のある児童のための学級「訪問学級」（横浜市立小学校特殊学級として）その「母親グループ」が母体となり、卒業後も通える場をつくった
- 2カ所の地域作業所を経て、S60年、法人認可
- S61年、知的障害者更生施設（通所）開設 定員40人

☆重症心身障害児施設に通所はない

横浜市と協議し、施設種別は知的障害者の通所更生となる
実質の通所予定者は、重症心身障害児者といわれる人たちであるため、開設にあたっては、横浜市が市単で加算

☆地域の反対があった

『横浜の田園調布に障害者施設はなじまない』

重度心身障害者施設の建設予定地。右が桂台中、正面が桂台保育園



横浜市南区上郷町の湘南社会団地に、同市の助成で重度心身障害者の通所施設が建設される計画だが、地元自治会の反対に会い、無軌している。自治会会長は名で「地域の環境になじまない」として計画中止を求める申し入れ書を横浜市長に出している。施設関係者は「何とか町議解決を」と願っているが、反対の気流に立つ自治会長が民生委員を兼ねていることから、「福祉の場に立つ人物のやるべき態度ではない」と批判する声も出ている。

障害者施設はなじまぬ

湘南桂台自治会

計画中止申し入れ

役員会で環境に配慮が必要 反対決め



会長は民生委員なのに

この施設は、社会福祉法人「湘南の家」(日相美智社代表)が建設、運営する「朋」とも「教育園」(仮称)。計画に「よると鉄筋コンクリート二階建て約千平方メートル、市有地約二千二百四十平方メートルを無償で貸

裏切られなかつた老女の心

上回る善意

報道された。以前区長の某ケ... 鎌倉市老人ホームの長は本誌... へはこれまで川崎、厚木、横... 須賀などの利権が送られてき... ていたが、九月午後三時すぎに... は、戻った身元を奪って一は

～ 理 念 ～

一人ひとりを大事にし
障害のある人も高齢者も
誰もが健康で平和に暮らせる
真の豊かさをもつ社会づくりをめざす

～2つのキーワード～

「一人ひとりを大事に」

「誰もが暮らしやすい社会づくり」

朋について

～ 誕生 ～

神奈川県横浜市では、養護学校（当時の）卒業後の通所の場として、昭和61年に「朋」が開設された

小学校、中学校、保育園に囲まれた住宅街の中にある

どんなに重い障害があっても、可能な限り家族と共に、地域の人たちと関わり合いながら暮らしていこう



一人の大人として活動する場は大切！

朋について

～ メンバーの概要 ～

人数	62人（朋：40人／朋第2：22人）
年齢	平均年齢31歳（最高年齢71歳／最低年齢18歳）
障害支援区分	「6」：60人／「5」：2人
身体の状態	<ul style="list-style-type: none">・人工呼吸器使用 5人（内1人夜間のみ）・酸素使用（常時＋随時）8人・気管切開 13人・下咽頭チューブ 1人・吸引 31人・吸入 14人・経管栄養 36人 （内、経鼻経管 5人、胃ろう 29人、腸ろう 2人）・インシュリン注射 1人 ・腹膜透析 1人・導尿 3人 ・ストマ1人
グループホーム で生活する人	18人 （内、外部法人が運営するグループホームで生活する人 3人）

（令和5年4月1日現在）

朋について

～ 活動 あれこれ ～

- ★「だいち」「つばさ」「ひびき」「ぎんが」の4グループで活動
- ★ 全員が集まるホールの朝の会から1日がスタート
(コロナ後は、各部屋からZOOMでつなぐ方式に)

- 自主製品（クッキー,どら焼き,ハーブソルト,ジャム等）製作及び販売
- 近隣宅への空き缶回収及び缶プレス
- バンド活動、地域イベントへの出演
- 近隣の保育園、小学校、中学校との年間を通じた交流
- 地域で活動する音楽グループその他が出演する朋内ミニコンサート
- 自治会事業への参画による朋園庭みどりアップとオープンガーデン
- ボランティアの協力による成人を祝う餅つき、愛ひかりフェスタ、ボランティア交流会等の行事
- 地域行事（夏祭り、運動会等）への参加 等

～ 日中活動 ～

介助を得ながらであっても
視線、声、表情等々から

活動の主体は本人！

社会の一員として
いろいろな人と出会い、関わり合い

社会とつながっていく活動をしよう！

朋からはじまって

～ めざしてきたこと ～

- 一人ひとりの、表情の変化や小さな表現に注目し、好むもの、やりたいこと、続けたいこと等、本人の希望を見出す
- 家族の中での本人の存在を大切に、在宅生活の中で必要な支援を導き出す
- 本人の地域社会との関わりを重視し、地域の人と直接関わり合う活動を行う
- 将来（家族と離れて）の生活について、本人が望んでいるであろう暮らしの実現をめざす





社会福祉法人 訪問の家事業所紹介

令和4年(2022年)7月31日現在

生活介護事業所

朋(とも)



- ※生活介護
- ※短期入所
- ※日中一時支援

〒247-0034
横浜市栄区桂台中4-7
☎: 045-894-6611
FAX: 892-3909

朋第2(ともだいに)



- ※生活介護
- ※日中一時支援

〒247-0004
横浜市栄区柏陽3-18
☎: 045-894-7297
FAX: 894-7375

集(つどい)



- ※生活介護
- ※短期入所
- ※日中一時支援

〒235-0002
横浜市磯子区馬場町1-42
☎: 045-751-8707
FAX: 751-8614

横浜市法人型地域活動ホーム

サポートセンター径(みち)



〒247-0034
横浜市栄区桂台中4-5
☎: 045-897-1101
FAX: 897-1119

- ※生活介護
- ※一時ケア

- ※地域交流
- ※おもちゃ文庫
- ※ショートステイ
- ※地域活動支援センターデイ型
- ※余暇活動支援

サポートセンター連(れん)



〒241-0835
横浜市旭区柏町59-2
☎: 045-360-9778
FAX: 360-7004

- ※生活介護
- ※一時ケア

- ※地域交流
- ※おもちゃ文庫
- ※ショートステイ
- ※地域活動支援センターデイ型
- ※余暇活動支援

相談支援・後見の支援事業

径・さかえ次世代交流ステーション



〒247-0005
横浜市栄区桂町711
※栄区基幹相談支援センター
☎: 045-890-6601
※栄区後見の支援室「とんぼ」
☎: 045-390-0201
※放課後等デイサービス「ひっころんど」
☎: 045-390-0281

旭区基幹相談支援センター 旭区障害者後見の支援室 絆



※旭区基幹相談支援センター
〒241-0821
横浜市旭区二俣川12-58-2-3F
☎: 045-365-7000
※旭区障害者後見の支援室 絆(きずな)
移動先住所: 〒241-0821
横浜市旭区二俣川11-45-94 セレス二俣川11F
☎: 045-365-5200 FAX: 045-744-8860

横浜市多機能型拠点

郷(さと)



〒247-0034
横浜市栄区桂台中2-1
☎: 045-443-7666
FAX: 897-6030

- ※短期入所
- ※相談支援事業(指定特定相談)
- ※日中一時支援
- ※診療所
- ※訪問看護
- ※自主事業
- ※地域交流事業

診療所



朋診療所

- ※診療科目
- ・小児神経内科
- ・小児科
- ・内科

〒247-0034
横浜市栄区桂台中4-7
☎: 045-895-0606
FAX: 895-6253



郷診療所

- ※診療科目
- ・小児科
- ・内科

〒247-0034
横浜市栄区桂台中2-1
☎: 045-443-7554
FAX: 897-6030

共同生活援助(障害者グループホーム)



きゃんぱす

〒247-0034
栄区桂台中8-8



ほびねす

〒247-0004
栄区柏陽14-11



ふおぴーす

〒247-0004
栄区柏陽21-26



コム

〒247-0009
栄区鍛冶ヶ谷2-13-22



からーず

〒247-0008
栄区本郷台5-14-9



ハイビスカス

〒247-0009
栄区鍛冶ヶ谷1-21-1



どりむはんず

〒247-0008
栄区本郷台5-14-21



トポス

〒247-0008
栄区本郷台5-14-18



アレグリア

〒235-0004
磯子区下町7-13



ひいらぎ

〒235-0003
磯子区坂下町8-28



オハナ

〒235-0021
磯子区岡村1-2-15



ファイン西が岡

〒245-0006
泉区西が岡1-32-13



ファイン鶴ヶ峰

〒241-0033
旭区今川町5-6

※障害者グループホーム エリア別連絡先

- ・栄地区「PAC」 ☎: 045-392-8641
- ・磯子地区「集」 ☎: 045-751-8707
- ・旭、泉地区「連」 ☎: 045-360-9778

横浜市地域ケアプラザ

桂台地域ケアプラザ



〒247-0034
横浜市栄区桂台中4-5
☎: 045-897-1111
FAX: 897-1119

根岸地域ケアプラザ



〒235-0002
横浜市磯子区馬場町1-42
☎: 045-751-4801
FAX: 751-4821

- 地域包括支援センター ●地域活動交流事業 ●生活支援体制整備事業
- 介護保険事業 ●居宅介護支援(ケアマネジメント) ●介護予防支援(介護予防ケアマネジメント)
- 通所介護(デイサービス) ●介護予防通所介護(介護予防デイサービス)

花かご



- ・横浜市介護予防
- ・生活支援サービス補助事業(通所型サービスB)

〒247-0032
横浜市栄区桂台東1-1
☎: 080-7170-6699

居宅介護事業(障害と高齢)



ヘルパーステーション さくら草

- ※障害関係
- ・重度訪問介護
- ・居宅介護
- ・訪問介護
- ・移動支援
- ・有償移送
- ・通所介護訪問介護

〒247-0004
横浜市栄区柏陽2-23
☎: 045-894-6692 / FAX: 891-9867



指定特定 相談支援事業所 PAC

- ※指定特定計画相談
- 法定外
- 法人内 地域生活支援事業連携拠点

〒247-0035
横浜市栄区桂台西2-5-10
☎: 045-392-8641 / FAX: 392-7294

法人本部



- ※本部事業
- ・事業運営掌握・人材募集
- ・法人研修・法人会計

〒247-0034
横浜市栄区桂台中4-7
☎: 045-894-4640
FAX: 894-4647

意思決定支援について思うこと

ある切り取られた場面で、

AかBを選んでもらうことだけが意思決定支援ではない
さまざまな支援をしても、明確にAかBを選択することが難しい人もいる

⇒ だから意思がない？



とんでもない！

どんなに重い障害があっても

眠っている以外、絶対に何かを感じている！

私が考える“意思決定支援”（2）

- ◇ 決定されたこと（本人が希望されていること）を共に実現する

困難があっても、あきらめない

- ◇ 実現されたことをどのように味わっているのかを受けとめる

それらを繰り返す

= “共に生きる”ということ

私が考える“意思決定支援”（1）

経験してもらう

1回の経験で反応がなくても、何回か経験することで味
わえ、楽しめたり、期待するようになることもある

その人の歴史を知る

どんな人たちの中で、どんな環境で、何を感じ、表現し
てこられたか・・・

時間を共にする

好んでいるもの、望んでいることを推しはかり、確かめ
ていくことはできる

“本当の共生社会”とは

☆人の気持ちを大事にする、尊重する社会

(どんな生きづらさを抱えていても)

☆地域のため、社会のために、それぞれの人が

できることを、できる時間で行っている

☆とにかく誰かと出会っている、つながっている

支えているようで支えられていたり、

ある時は支えていた人が

別の時には支えられていたり

訪問の家周辺で起こっていること

- 活動や暮らしの中で顔見知りが増え、近隣に住むボランティアさん、パートさん、ヘルパーさんがたくさんいる
- 小中学校との長いおつきあい（交流）からたくさんの方のエピソードが生まれている
- かつてのボランティアさんが支援が必要に
ある時は誰かを支え、ある時は支えられる
＝地域で支え合う空気
- 「住みたくなる地域に！一緒に街づくりをしましょう！」
住民から声がかかるように

「文化施設としての社会福祉施設」 (法人創設者・日浦美智江)

朋開設反対の言葉

「文化施設ならいざ知らず、

障害者施設は、この地域になじまない」

文化とは、人間の生き方を考えること

私たちの施設は、

命の大切さ、生きるということ、人と人のつながり、

それらを考えることができる場にしよう

人生にかかわる仕事

- ◇ 繰り返される制度改革、求められるコンプライアンス
- ◇ 生産性重視、自己責任論の台頭・・・

そんな世の中で

人と人が向き合い、互いの人生に影響を与え合う
そうした関係は築かれているだろうか???

私たちの仕事は、その人の人生に関わること

“共に生きる”ということ